



受賞作品 | 英語部門

〈総評〉

本年度の英語部門は総計148点の作品が寄せられました。団体での応募が多数ある中、個人での応募、そして様々な地域からの応募もあり、これまでと変わらぬ接戦となりました。

特に今年は、東北や関西地方からレベルの高い作品が多く寄せられ、地域を越えて互いに競い合う様子が見られたことを大変嬉しく思います。

入賞作品の主な特徴としては、場面にあわせてスピードや声量を調整する、登場人物になりきって声を演じるなどのきめ細やかな配慮などが挙げられます。スピーチでは自身の経験談をふまえて、聞き手にトピックを投げかける構成に好感がもてました。総じて、聞き手を意識した仕上がりとなっていると感じました。まずはスピードや声量が適切であることから始まり、目の前に聞き手がいるイメージで話してみるとより一層完成度が高まるでしょう。

今後も抑揚の付け方や登場人物の演じ分けなど、楽しみながら表現の練習を重ね、積極的に参加して下さることを願っています。



文部科学大臣賞

Whoever You Are

兵庫県 仁川学院小学校 5年
林 里瑳子



子どもの文化・教育研究所 理事長賞

The Three Billy Goats Gruff

山形県 山形市立西小学校 2年
大木 悠慎



一般財団法人語学教育研究所 所長賞

Oh, Jack!

宮城県 国立宮城教育大学附属小学校 3年
大沼 蓮



英語授業研究学会 会長賞

My small step

東京都 目白研心中学校 1年
吉野 莉彩



日本児童英語教育学会 会長賞

Stone Soup

山形県 山形大学附属小学校 1年
水戸部 有紗



中央出版株式会社 社長賞

Cookies

大阪府 大阪市立南住吉小学校 5年
立野 拓也



優秀賞

I'll Always Love You

山形県 山形市立南沼原小学校 5年
高橋 仁菜

Little Red Riding Hood

東京都 品川区立伊藤学園 5年
中島 凜花

Chii's Shadow Sending "Kageokuri"

広島県 海田町立海田南小学校 6年
平田 彩莉

文部科学大臣賞

Whoever You Are

林 里瑳子 | 兵庫県 仁川学院小学校 5年

〈選考理由〉

言葉一つひとつに丁寧に感情をのせて読み進められており、里瑳子さんが最も聞き手に伝えたいことが何かよく分かる朗読でした。読み方ひとつをとっても、大事な言葉の前には間を溜めてから、より一層大切に、丁寧に読むところに大きく感動しました。特に、聞き手の隣に座りながら、優しく語りかけるような読み方と表現力は圧巻でした。

昨年からさらにパワーアップされた里瑳子さんに期待が高まるとともに、今後もさまざまな題材で豊かな表現力を発揮してくれることを楽しみにしています。

子どもの文化・教育研究所 理事長賞

The Three Billy Goats Gruff

大木 悠慎 | 山形県 山形市立西小学校 2年

〈選考理由〉

発音の良さと流暢な読み方もさることながら、登場人物によって声色を変えつつ、さらに単語や文の意味を深く捉えて声で表現している様が高評価につながりました。"one"や"sweet"、"cranky"の表現が際立っており、聞き手を一切飽きさせない魅力的な朗読でした。

これからも悠慎さんのもっている表現力を大切にしながら、さらに自己表現の場をつかんでいってください。

一般財団法人語学教育研究所 所長賞

Oh, Jack!

大沼 蓮 | 宮城県 宮城教育大学附属小学校 3年

〈選考理由〉

読み始めから声に自信が溢れており、堂々とした朗読でした。物語の登場人物になりきり、抑揚をしっかりとつけながらセリフを読めていたことで物語にメリハリが生まれ、物語の世界にぐっと引き込まれました。なかでも、お母さんのセリフや終盤の"giggled"の表現力の高さには驚かされました。

感情豊かな表現で、今後もさらに活躍の場を広げてくれることを期待しています。

英語授業研究学会 会長賞

My small step

吉野 莉彩 | 東京都 目白研心中学校 1年

〈選考理由〉

経験談から始まり、聞き手にとっての"small step"は何かを語りかけた上で、莉彩さんの"small step"で締めるという、聞き手が内容を理解しやすい構成でした。終盤にある莉彩さんの"small step"の部分は、他の段落以上に感情を込めて読まれており、素晴らしかったです。

さらに抑揚をつけるとより魅力的なスピーチとなり、完成度が高まるでしょう。

日本児童英語教育学会 会長賞

Stone Soup

水戸部 有紗 | 山形県 山形大学附属小学校 1年

〈選考理由〉

元気はつらつな声で物語が始まり、登場人物の性別や年齢に合わせて声色が調整されている点が非常に好印象でした。セリフを読むスピードにも緩急がしっかりとついており、そこにこだわって読んでいることが伝わってくる朗読でした。後半の"This is delicious!"は一段と表現力豊かで魅力的でした。

今後は声の強弱を工夫しつつ、さらに磨きをかけていってください。

中央出版株式会社 社長賞

Cookies

立野 拓也 | 大阪府 大阪市立南住吉小学校 5年

〈選考理由〉

スクリプトにはないクッキーを食べている時のクチャクチャ音まで表現されており、物語を近くで覗き見しているような臨場感がありました。また、Toadが棚に戻されたクッキーを取るシーンでは、読み方に軽快なリズム感を持たせることで、Toadの高揚感も感じられました。

拓也さんのもっている表現力を他の題材でも活かし、さらに活躍の場を広げていってください。